

# 京都大学創立125周年記念 市民講座 「物理と宇宙」

ウェブサイト：[http://sasakitakanori.com/public\\_lecture/](http://sasakitakanori.com/public_lecture/)

毎年京都大学では、物理学と宇宙物理学についての市民講座「物理と宇宙」を開催しています。京都大学の研究者が最新の研究成果を発信し、その最先端を分かりやすく説明する講座です。

今年度は、京都大学創立125周年記念事業の一環として開催いたします。新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、昨年度に引き続き Zoom を用いたオンライン市民講座という形で行います。

主催：  
京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻  
京都大学基礎物理学研究所

ご質問等は [shimin@scphys.kyoto-u.ac.jp](mailto:shimin@scphys.kyoto-u.ac.jp) まで

## 第1回 (6/11)

- ・日時：2022年6月11日（土）19:30-21:30
- ・参加費：無料（Zoom・途中参加/退出 OK）
- ・定員：300名（事前申込・先着順）



### 「宇宙最強の爆発天体」

井岡邦仁（京都大学 基礎物理学研究所 教授）

宇宙では我々の想像を遥かに超える現象が日々起きています。その中で最も最強の現象は何なのでしょう

か？最も明るい天体、最も温度の高い天体など、色々な最強がありますが、超新星爆発を超えるような極限状態はまさに物理学のフロンティアです。意外にも、最強なのに発見は21世紀に入ってからのものもあり、マルチメッセンジャー天文学や時間領域天文学の発展によって急速に理解が進み始めています。同時に新しい謎も出てきて、中にはまだ正体のはっきりしないものもあります。宇宙の最も激しい一面の謎を一緒に探っていきましょう。

## 第2回 (6/18)

- ・日時：2022年6月18日（土）19:30-21:30
- ・参加費：無料（Zoom・途中参加/退出 OK）
- ・定員：300名（事前申込・先着順）



### 「宇宙を支配する数式から超ひも理論へ」

橋本幸士（京都大学 大学院理学研究科 教授）

この宇宙、そして物質と力、は究極のところ、何からできているので

しょうか。我々人類は、素粒子物理学を用いて、この宇宙がたった一つの数式で支配されていることを突き止めました。この数式は、素粒子の標準模型（にアインシュタインの一般相対性理論を加えたもの）と呼ばれ、人類の英知の結晶です。一方で、暗黒物質やニュートリノ振動現象など、数式で説明しきれない宇宙の謎が多くあります。超ひも理論は宇宙のすべての物質と力を統一する可能性のある、物理学上の理論仮説です。なぜ宇宙の空間は3次元なのか？常識を疑うことから、最先端の物理学の世界へと、みなさんをお連れします。

上記ウェブサイトからご登録ください